

1. 園の教育目標

遊びだいすき、友だちだいすき

2. 本年度に定めた重点的に取り組むことが必要な目標をもとに設定した学校評価の具体的な目標や計画

努力目標…「やってみよう！」～子供の心が動く環境構成や教師の援助について考える～

(園内研修を行い、努力目標達成に向け取り組みを進める)

3. 評価項目の達成および取組状況

評価項目	結果	理由
(1)努力目標を達成するため、園内研修を計画的に実施する	A	園内研修を計画的に実施し、教師全員で研究保育に参加したことで、教師の意識が向上したと共に、子供の遊びの質を捉えた環境構成の構築、再構築の必要性について学ぶことができた。
(2)ねらいや指導内容を明確にしなが環境構成を行う	B	子供の姿を捉え、発達過程を大切にしながら継続した保育が行えるよう、日々の保育内容の「ねらい」を明確化し、保育の準備に取り組んだ。
(3)個々の幼児の評価や課題について全職員で話し合い、保育をしている	A	一人ひとりの子供の姿や育ちについて全職員で共通認識できるよう積極的に連携をとる努力を行った。個々の課題や支援内容を明確にすることができ、保護者との連携にも繋げることができた。

4. 学校評価の具体的な目標や計画の総合的な評価結果

結果	理由
B	認定こども園としての保育の充実をめざし、学年別それぞれの発達に沿って「ねらい」を明確化していくようにした。興味関心、好奇心の芽が育つよう、また遊びの中で試行錯誤することができるような環境構成や、子供の心をくすぐるような教師の関わりについて考えた。一人ひとりの子供の思いに寄り添いながら日々の保育内容を考えたことで、いろいろなことに挑戦し、根気強く取り組んだり互いに教え合ったり、一緒に頑張ったりしながら育ち合う姿が見られるようになってきている。

◎「3. 4.」の評価結果の表示方法 A 十分達成されている B 達成されている

C 取り組まれているが、成果は十分でない D 取り組みが不十分である

5. 今後取り組むべき課題

課題	具体的取り組み方法
1. 教師の支援について考察し、子供の主体性を伸ばす	子供が物事にじっくりと関わることができる時間、環境、教師の支援などについて考え、試行錯誤している姿を大切にする。
2. 特別支援教育の充実を図る	一人ひとりの子供の姿や育ちを丁寧に捉え、課題や支援方法を明確にする。また家庭や関係機関との連携を密にし、よりよい支援方法を探る。